

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者 等の在宅生活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現するため、事 業所独自の理念を掲げている		○			理念を掲げているものの理解 していない職員もおり、次年度 は明確化し全職員の理解につ なげていきたい。	理解していない職員がいるの であれば是非全職員が理解で きる場所へ掲示してより良い物 にしていただきたいです
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの 特徴および事業所の理念につい て、その内容を十分に認識している		○				理解不十分な部分があるので あれば管理者と職員共にもう 少し努力も必要なのでしょう
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、 随時対応時のオペレーターの判断 能力など)の向上のため、職員を育 成するための具体的な仕組みの構 築や、法人内外の研修を受ける機 会等を確保している		○			内部研修は毎月実施している が、H27年度は人間的な余裕 がなく外部研修参加が少な かった。	色々な研修があると思われます。 人員配置の面で参加するのも大 変なことがあるでしょうが、外部で の貴重な研修にも多くの職員が 参加できる機会があることが望ま しいです

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			経験年数や職員の性格等も踏まえ配置している。	経験年数を踏まえ配置を検討し、又研修参加で能力アップを図っているようです
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			PCの使用、また毎日の各事業所からの申し送りを通じ、情報の共有が確保されている。	PC、タブレットを使用し、利用者の体調などの情報を共有しているんですね。医療依存度の高い方々の情報共有も細部にわたりになされているようです
いる									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			サービス提供が多い時間帯や、随時訪問が重複する場合等を予測し配置している。	利用者の特性や、随時訪問で訪問が重複する場合は職員との相性も考えながら、人材の配置が出来ているんですね
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			要望等はサービス提供に反映するよう努めている。	会議の際は職員配置について常に意見を出しているが少しづつ補充がなされている事は良い事です。適切な人員配置から利用者への良いサービスが提供できる状況が作られるのが利用者や家族の望むことです

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・回覧、PC等の利用で迅速な共有を図っている。 ・必要に応じ担当者会議開催の提案をしている。 ・夜勤業務と兼務しているため日中の情報を得るのが遅くなることもある。 	今、個人情報の管理はとても重要なことになってますね。パソコン等で職員が情報の共有が出来ているのはいいですね。
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会や防災訓練、車両運転講習等を定期的実施している。 ・緊急時の対応、対策に不安を感じている職員もおり、マニュアルの整備と定期的にくり返しの講習を実施していきたい。(年間事業計画へ予定) 	毎年町内会の防災訓練に参加いただいています。今後も上町地区と共同で防災に対して協力していければいいですね。緊急時の対応マニュアルを作成しすぐ対応して下さい。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な工夫という点では不安感がある。 ・次年度の目標に掲げたい。 	個人情報の取り扱いについては十分行われているのか？各事業所で取扱いについて同意いただいているのであれば安心ですが、事業所として不安があるなら具体的に考えて実行してください。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			病状及び注意点からのアセスメントが主となっている。	利用者それぞれの生活にあわせた提案がなされていると感じています。職員の方々の努力があると思います。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			定期巡回型の場合は、毎月看護師がアセスメントを実施することになっている。日々の気づきについては共有や、つき合わせを行っている	
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			・現在の生活状況を継続できるような計画を作成している。 ・多職種への情報提供も実施。	有料老人ホームでの生活を考えると皆さん安心して生活出来ていると思います

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
②	利用者等の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者等の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			<ul style="list-style-type: none"> 先を見越した「未来志向型」計画に至っていない。 体調変化があった場合、計画へ反映しきれないこともある。 	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			<ul style="list-style-type: none"> 外出や他の介護保険サービス利用の変更等に伴い柔軟なサービス提供に努めている。 多職種、介護支援専門員との連携を図っている。 	檜の木内部だけでなく、外部の介護支援専門員さんとも連携を図り柔軟なサービス提供に努めている状況は、他からの意見も取り入れていると考えるととてもいい状況ですね
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> 毎月のモニタリングを通じサービス内容の変更、追加が必要な場合は各関係者等への提案をしている。 	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている		○			・適宜連携を図り、医療・処置は看護、他は介護で実施している。	専門性を生かした介護と看護の連携がなされているようである。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			・日々の申し送り時に助言、指導等を受けているが医療的な視点からの助言は少ないように感じる。	医療と介護の連携があつての利用者の生活だと思えます。医療の事は看護師から指導を受けて、適切に実施している様子がわかります。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			・契約に関わる担当職員が本人や家族へ説明を行っている。	有料老人ホームで生活されている方の中でもこのサービスを利用されているのは全員ではないです。一日複数回の訪問、見守りなどが必要な方が対象であると思われませんが、その点を開始前に十分説明されているからサービス提供が出来ているんだと思えます。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画については開始前に定期訪問の時間、随時対応、随時訪問などについて説明を実施している	
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			家族への電話での連絡や、面会時時に報告している	
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			毎日の生活状況報告時にケアマネにも報告実施。	内部のケアマネだけでなく、外部のケアマネへの情報も報告され共有が図られているようです
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			毎月のモニタリング時又は、気づいた時に提案をしている。	介護支援専門員との関係性も保たれているようです

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			担当者会議へ出席時に多職種への状況報告を実施している。	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○				多機能ホーム檜の木が生活の場となって利用者へ包括的なサポートが出来ているようです
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○				病院退院前に多職種での情報を共有し退院後すぐにサービス提供できるようにしている。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)					現在は地域へサービスを提供できていないため、同法人内での連携のみならず、他事業所等との連携について検討していく必要がある。	地域や包括支援センターとの連携を図り是非地域へのサービスを提供できるようにして頂きたいです
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			介護、医療連携推進会議の開催の様子をホームページに掲載したりしている。また会議録については施設玄関入口に配置している。	
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			地域活動(町内会行事)内でサービス内容について説明する機会があった。次年度は範囲を拡大して広報していきたい。	今年度は地域の活動の中で、サービスについての説明の機会を作ってもらいました。今後も周知活動を続けていただきたいです。町内にも広報紙を頂き、地域の方へ回覧しても良いと考えています。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			まだ理解不十分な面もあり、職員全体での理解が必要な状況である。	
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○			毎回の連携推進会議で話している通り現在は有料老人ホーム入居者へのサービス提供であるが、常に地域展開を考えている。	是非周知活動を行い、地域へサービス提供できるよう展開して頂きたいです
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <u>(※任意評価項目)</u>			○			地域の方また多くの方に参加して頂き、勉強会や研修などを行って頂き安心して暮らせるような提案を提供して欲しいと思います

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
Ⅲ 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			1日に複数回の定期訪問により、ADLの向上、生活の質の向上が図られている。	利用者によっては高齢者が多い事もありADLの低下が見られる場合もあるようだが、介護員も、看護師も連携を図り取り組んでいる様子は十分うかがえます
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			在宅生活(現在は有料老人ホームの入居生活)を維持し継続することにより、本人および家族にも安心感を与えている。サービス提供する事業所として、十分実施できていると言える状況を報告していきたい。	住まいである有料老人ホームとの連携を図り安心して生活を送って頂けるようなサービスの提供をしていただきたいと思います。実施状況はほぼできていると答えているものがほとんどであるが、来年度の自己評価は是非できていると報告されると良いですね。来年度の取り組みを期待しています。